

# 実際に利用されている方の声

## 神奈川県 高校教師 S 先生

私は担任をもつ学年の生徒に対して入学から卒業までの永きにわたり大学入試問題解答集(以下、ホクソム本)を活用してまいりました。

1、2年生の長期休業中の課題では教科書傍用問題集以外の応用問題として、特にホクソム本で注意が記載してある問題を取り上げました。この時点では出題した課題を解けない生徒も多いのですが、ホクソム本は注意が詳しく記述されているので自学自習が可能でした。

同様に長期休業中の補習授業でもホクソム本の前書きに書いてある問題を中心にピックアップし、学年の節目ごとにマスターしてもらいたい問題を丁寧に教えていました。ホクソム本は解法に汎用性があり、3年間を通して論理に一貫性もたせることができます。

よい問題でよい解法をとると解答を読んだだけでも不思議なことに学力がぐんぐんついてくるのです。

また、各学年を通して定期テストでは市販の問題集では扱っていない大学の問題をホクソム本から引用し数値を変えて出題していました。特に2018年広島工業大学の‘次数上げ’のように要の分析でお薦めになっている問題は利用価値が高いです。ホクソム本は他社では扱っていない大学の問題も数多く載せてくれているのでネタバレしにくく大変助かりました。

3年生になると数Ⅲの演習の補習用としてホクソム本の前書きで取り上げられている問題をすべて演習しました。問題演習のプリント作成は意外と簡単です。一枚一問形式でB4用紙左半分にホクソム本の問題部分を切り貼りし罫線で枠囲いした後、右半分に該当問題の解答を切り貼りしました。演習時はB4を半分に折り、右下に解答を書かせていました。また3年文系の数学ⅠAⅡBまでの演習では他社から出版されている安田先生の問題集を使用していましたが、その補習用問題としてもホクソム本の前書きの問題の一部を演習しました。安田先生の著作物とホクソム本との相乗効果もあり生徒には大変好評でした。

また、生徒が自分自身で受験校の過去問の演習をやる時期になると、ホクソム本の該当箇所を数年分コピーして配布していました。この時期には生徒も解法の善し悪しがわかるので3年間を通して演習をしていた解法の素晴らしさを実感してもらえます。

この手法をとったおかげで私の受けもった学年は他学年よりも目に見えて難関校に合格する比率が高かったです。特に医学部受験生の多い高校ではホクソム本の演習効率は高いと思います。また、本校では他の2社から出版されている大学入試の解答集も例年購入しておりますが、ホクソム本を利用する先生方が多くなっているのも事実です。